

日本液体微粒化学会 (ILASS - Japan)

《 維持 会 員 》

ご 入 会 の お 願 い

液体の微粒化は、機械・化学・航空宇宙・薬学・医学・原子力・農薬散布・固体粒子造粒など広い分野に亘る境界領域に属する技術・学問分野であり、工学・工業上重要な役目を果たしております。特に、近年のエネルギー問題や環境保全の立場からその発展を図ることが重要であります。

しかしながら、微粒化に関する技術が広い工業分野で応用されているにも拘らず、一部の企業を除き副次的な問題として関与する場合が非常に多く、技術的な蓄積がほとんどなされていないのが現状です。また、利用分野より要求される噴霧や生成される微粒子の特性が異なるため、微粒化に関連する諸問題の解決が、試行錯誤的な方法で行なわれているのが現状です。

本会は、液体の微粒化に関する研究の進歩と工業の発展に寄与するために、研究者・技術者が相互の連携を図り、産・学・官の緊密な協力関係を育成すると共に、当該科学技術の振興を図ることを目的として、1991年8月に発足しました。以来、会誌を通じた情報交換や論文発表講演会、微粒化技術に関する講習会など多くの活動を精力的に行っております。

本学会は、今後とも微粒化研究や工業の発展に寄与するとともに、異なる分野で活躍する研究者や技術者が、“微粒化”という共通のテーマを通してお互いに理解を深め、産業界を始め各方面に広く貢献できる人材の育成に努力し、次世代に向けて開かれた学会を目指し、活動を続けて参ります。

何卒、本会の趣旨をご理解の上、維持会員としてご入会いただき、ご指導いただくと共に、本会の活動をご支援下さいますようお願い申し上げます。

《日本液体微粒化学会》の目的

本会は、微粒化に関する科学技術の振興を図るとともに、関連分野への貢献ならびに会員相互および諸外国との交流を図り、広く人類社会への還元を目的として活動しています。

《日本液体微粒化学会》の沿革

日本は、1960年代後半から工業の急速な発展にともなう製品の高性能化やエネルギー、環境保護の問題に端を発して微粒化問題の重要性が叫ばれてきました。この声を受けて、1972年に世界に先駆けて燃料協会（現日本エネルギー学会）を中心とした十数の関連学協会の協力により「液体の微粒化に関する講演会」を開催するに至りました。この講演会は、異なる分野の研究者や技術者がはじめて一堂に集り、共通の微粒化問題を討議する場となり、1970年代初頭より、以後、約半世紀維持して参りました。

この日本の動きはすぐに世界に知れわたり、1978年に第1回国際会議 [ICLASS (液体の微粒化に関する国際会議) : International Conference on Liquid Atomization and Spray Systems] が東京で開催され、

以後 3 年毎に世界各地で開催されるようになりました。

また、国際的なネットワークの設立も進み、1988 年に倉林俊雄先生（本会名誉会員）を議長とする国際微粒化評議会（ILASS-International）が設立され、さらに世界各国に国内組織として ILASS-National を設置することが決定されました。これを受けて、1989 年に ILASS-Japan（Institute for Liquid Atomization and Spray Systems-Japan）が発足し、日本エネルギー学会の協力により活動を続けて参りましたが、1991 年 8 月の総会において、「広く人類社会に貢献できる組織に育て上げたい」との強い要望と決意から、独立した学会組織とすることが決定され、「日本液体微粒化学会（ILASS-Japan）として新たなスタートを切り、今日に至っております。

《日本液体微粒化学会》の活動

日本液体微粒化学会は、液体の微粒化に関する研究の進歩と、工業の発展に関するあらゆる活動を独自あるいは他の学協会と協力して実施するように努力しております。

現在、定例的に実施されている活動内容は以下のとおりです。

1. シンポジウムの開催

「微粒化シンポジウム」を毎年開催し、広範囲の研究者・技術者により多くの研究成果が報告されています。また、研究に対する活発な討論や意見交換がなされています。

2. 講習会・セミナーの開催

中堅・若手技術者を対象とした、「微粒化セミナー」を毎年開催しています。「微粒化セミナー」は、噴霧特性の測定法の原理の解説と実習による技術の取得を目的としています。その他にも適時「微粒化基礎講座」や「新しい応用技術」などの開催を企画しています。

3. 学会誌の発行

微粒化に関する記事や研究論文等を掲載した学会誌『微粒化』を年 3 回（3 月、7 月、11 月）発行しています。また、年 6 回発行の国際学会誌『Atomization and Sprays』の出版に協力しています。

4. 調査・研究活動

大学・公的研究機関・産業界の研究者・技術者からなる研究委員会を組織し、研究会の場で情報を共有しながら、微粒化に関する最新の問題や共通の問題に関する調査活動・研究活動に取り組んでいます。

5. 微粒化研究への助成活動

微粒化分野の進歩・発展に資することを目的として、同分野の発展に貢献する研究課題、若手研究者が提案する萌芽的研究課題について、研究費用の助成を通じた支援を行っています。

6. 国際協力

(1) 国際会議の主催または共催

ICLASS（液体の微粒化に関する国際会議）は、1978年に東京で第1回が開催されて以来、マディソン（1982）、ロンドン（1985）、仙台（1988）、ワシントンDC（1991）、ルーアン（1994）、ソウル（1997）、パサディナ（2000）、ソレント（2003）、京都（2006）、ベイル（2009）、ハイデルベルク（2012）のように、3年ごとに開催されています。日本で開催される場合、本会が主催し、他国で開催される場合、共催団体として開催に協力しています。

(2) 国際学会誌の出版協力

微粒化に関する論文集『Atomization and Sprays』が米国 begell house 社から年6回発行されており、その発行に協力しています。

(3) 国際論文賞への協力

国際会議の論文賞として、棚沢賞（Tanasawa Award）が1987年より ILASS-Int.において創設されています。この賞は、ICLASSで発表された論文の中から最優秀の論文に授与されます。

また、国際的な貢献賞として、2004年に ILASS-Europe が創設した Lefebvre 賞があります。日本液体微粒化学会（ILASS-Japan）は、ILASS-Asia の構成組織として、これら二つの国際賞の選考と授与に協力しています。

《維持会員》の資格と会費

《維持会員》とは、本会の事業に賛同する団体であり、団体の代表者を特別会員と称し、特別会員には正会員と同等の資格があります。また、維持会員独自の特典もございます。

《維持会員》の会費は、年額1口30,000円とし、1口に付き1名の特別会員をご指名できます。

本会の会計年度は、1月1日より12月31日までです。年度途中で入会をご希望される場合、下記の事務局までお問合せ願います。

《維持会員》の特典

《維持会員》には、特別会員の＜会員特典＞以外に、以下の特典があります。

＜会員特典＞

- ①学会誌『微粒化』（年間、3回発行）を送付致します。
- ②微粒化シンポジウム、微粒化セミナーに割引料金にて参加することができます。
- ③ご入会時に日本液体微粒化学会創立20周年記念出版冊子を進呈致します。

《維持会員への特典》

- ①微粒化シンポジウム講演論文集を毎年1冊送付致します。
- ②微粒化シンポジウムに、その団体に属する方1名に限り、ご招待しております。
- ③ホームページバナー広告の割引があります。

《維持会員》のご入会方法

入会申込書に必要事項をご記入の上、下記の事務局宛てに郵送、もしくは電子メール添付にてお送り願います。併せて、会費を下記の振込口座にお振込み下さい。

【事務局】

〒554-0022 大阪市此花区春日出中 2-14-9

(株)学術出版印刷内 日本液体微粒化学会事務局

Phone : 06-6466-1588

Fax. : 06-6463-2522

E-mail: infomation_atmz@ilass-japan.gr.jp

【銀行振込口座】

みずほ銀行 日吉支店 (普)

口座番号 : 2101416

名 称 : 日本液体微粒化学会

【ホームページ】

<http://www.ilass-japan.gr.jp>